

大船渡だより

大船渡ベースの活動紹介

被災地支援へ

台風19号による川の氾濫によって被害が出ている地域を支援する為に、カリタス南三陸がボランティアを募集しました。それに応えて、大船渡ベースではこれまでに2度、登米市東和町へボランティアに伺いました。



1度目は、登米市東和町の社協の指示で、浸水したお宅の片付けに伺いました。この日は、1軒のお宅を1日ばかりで片付けました。納屋に流れ込んだ泥をかき出し、水で流し、外に出されていた全ての家財を運び込み、雨が心配されるので大きなタンスなどは早めに中に入れました。最低限の調理が出来るような調理スペースも作りしました。外に運び出され雑多に置いてあったものは、食器類、衣類、家財類、その他と分け、取っておくもの、捨てるものと仕分けをして、屋内に運び込みました。

2度目は3軒のお宅へ伺い、荷物運びや家具を洗う作業をしました。市の職員と思われるたくさんの若者達も、作業のお手伝いをしていました。集められた廃棄物は、トラック1台と軽トラック2台で次々と運び入れられ、依頼者さんは、使う物と使わない物を仕分けるのにととても苦労されていました。

気持ちを落ち着ける間もなく判断を迫られることが多く、心身共に厳しい状況にある被災者の方々には、長期的な寄り添いが必要と感じました。大船渡から登米市までは、車で約1時間半の距離です。いつも大船渡を気に掛けてくださるボランティアさんと同様に、私達も関わった登米市の方々が、その後どうなっているかと案じています。機会を見つけて再訪したいです。

世界に1つの作品を



10月29日、カリタス大船渡ベースで深大寺陶芸教室が行なわれました。10名の方が参加され、練込み皿を2枚ずつ作りしました。先生から作り方と注意点の説明があり、皆さん真剣な表情で聞かれています。

まず始めに、赤土と白土を3〜4等分にします。次に、分けたものをそれぞれ長方形にし、交互にくっつけて円形に整えます。さらに、円形に整えたものを17センチの大きさまで伸ばします。最後に、『切金』という道具で上と下をスライスするように切り分けると、同時に2枚の皿が完成します。それぞれの切り口は、赤ねんど、白ねんどがはっきりと色分けされ、素敵な縞模様が出来ました。皿の縁を作る作業も難しそうでしたが、浅いものから深いものまで、それぞれ個性あふれる作品を作ることができました。

作業が終わった後、お茶を飲みながら台風の話をしたり方言の話題で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。深大寺の先生は、前回参加された方の顔を覚えていらっしゃるようで、参加者の方々はとても喜んでいました。また是非お会いしたいと手を握り合う場面も見られ、心温まるひとときとなりました。

地域のイベントや活動紹介

ベースがライブ会場に

今年で8回目を迎える音楽交流イベント『The North Journey』が今年も開催され、ベースもその会場のひとつとなりました。元々は地ノ森八軒街を会場に行われており、ベースで行われるのはこれで3度目になります。大船渡周辺各所におけるライブコンサートを通して、現地のミュージシャンと都内近郊で活動するミュージシャン及び被災された方々との交流を企画し、現地でのミュージシャン、スタッフの宿泊、飲食、機材、車両などの調達を通し、ささやかながらでも施設及び周辺の経済効果を意図して活動を続けておられるのだそうです。



8回目のテーマは『For Kids&Olds〜子ども達とお年寄りのために〜』との事で、歌や演奏の披露の他にも、子ども達とお年寄りのためのパフォーマンスをより増やした物をと企画されてきたそうで、ボーリング大会やマジックショー、健康体操のコーナーもありました。ベースではたこ焼きを焼いて、来場された皆さんにお配りしました。

気仙の小枝柿



気仙地方に秋の訪れを告げる風物詩、『小枝柿』。各地で、この柿のきれいなだいたい色がいつそう鮮やかさを増しています。枝っぱいについた柿の実は、10月頃からだいたい色となり、町中のいたる所に、たわわに実のついた柿の木を見ることが出来ます。

小枝柿は気仙地方で古くから栽培されている種無し柿で、そのまま食べると渋い柿です。収穫して乾燥させたものは『ころ柿』と呼ばれています。

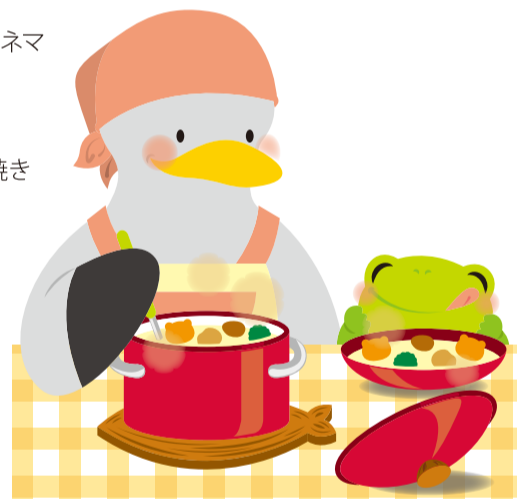
今年は夏からの暑さが続いたせいか、例年になく割れたり落ちたりしたものが多く見られましたが、これからの時期、収穫したものをひとつひとつ機械で皮をむき、糸につないで、すだれのように軒下に吊るし、約ひと月、五葉山から吹きおろす冷たい風にさらすと、あまーい『ころ柿』の出来上がりです。生産する人は年々減ってきていますが、近年は加工技術の向上とともに、特産品としての価値が見直されてきています。

2019年10月1日~31日の活動紹介

※随時、ベースでお茶っこと在宅訪問をしています。

- 1日:個人依頼 通院補助 / 京都教区東日本大震災応援ツアー
- 2日:買物送迎 / 手芸サロン / 京都教区東日本大震災応援ツアー
- 3日:所通東アパート お好み焼き
- 4日:個人依頼 寄り添い / 陸前高田『東日本大震災津波伝承館・道の駅』見学
- 5日:買物送迎 / ママサロン『リラックマ芋餅を作ろう』
- 8日:公営住宅訪問 川原アパート
- 9日:買物送迎 / 手芸サロン
- 10日:ファミリーサポート 子ども見守り 上山東アパート お好み焼き / カリタスシネマ
- 11日:個人依頼 部屋の片付け 12日:買物送迎
- 15日:ほしっこクラブ(海の星幼稚園未就園児教室) 子ども見守り 第6回東日本大震災応援ツアー
- 16日:買物送迎 / 公営住宅訪問 清水アパート 教会支援 病院訪問 / 手芸サロン / 第6回東日本大震災応援ツアー
- 17日:台風19号の被災地支援
- 18日:元気度アップ教室(まちの保健室主催) たかたゆめキッチン 調理補助
- 19日:買物送迎 / 被災地見学 / カリタスシネマ
- 22日:公営住宅訪問 川原アパート 個人依頼 家具移動・荷物運び 夙川教会東日本大震災応援ツアー
- 23日:買物送迎 / 清水アパート お好み焼き 手芸サロン 夙川教会東日本大震災応援ツアー
- 24日:ファミリーサポート 子ども見守り 手芸の集い 台風19号の被災地支援
- 26日:買物送迎 / 教会支援 初聖体準備
- 29日:深大寺陶芸教室
- 30日:買物送迎 / みんなでお昼ごはん 手芸サロン
- 31日:ファミリーサポート 子ども見守り

大人から子どもまで
かわいいお顔作りが
1番人気でした♪



大船渡市の元中心地の様子 (2019/11/11 撮影)



ボランティア登録者数

男性 665人
女性 1380人
⇒合計 2045人

◆10月1日~10月31日
ボランティア数
男性: 3名
女性: 2名

<12月のイベント情報>

○12月7日(土) 10:00~12:00

『ママサロン〜クリスマスリース作り〜』

○12月21日(土) 12:00~14:00 『クリスマス会』